

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道159号 <small>かなざわとうぶ かんじょうどうろ</small> 金沢東部環状道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局						
起終点	自：石川県金沢市今町 至：石川県金沢市鈴見台 <small>かなざわし いままち かなざわし すずみだい</small>	延長	9.4km								
事業概要	一般国道159号金沢東部環状道路は、地域高規格道路「金沢外環状道路」の一部を構成し、金沢市中心部の交通渋滞緩和、広域的な幹線道路ネットワークの形成、中心部における通過交通の排除などを目的とした延長9.4kmの道路事業である。										
S62年度事業化	S60年度都市計画決定	S63年度用地着手	H3年度工事着手								
全体事業費	約1,250億円	事業進捗率	83%	供用済延長	2.4km						
計画交通量	32,900～61,000台/日										
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 4.3 (残事業) 12.9	総費用 (残事業)/事業全体 190/1,882億円 事業費：157/1,786億円 維持管理費：33/95億円	総便益 (残事業)/事業全体 2,438/8,151億円 走行時間短縮便益：2,160/7,069億円 走行経費減少便益：221/767億円 交通事故減少便益：57/315億円	基準年	平成27年						
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">[事業全体] 交通量：B/C=4.1～5.6（交通量±10%）</td> <td style="width: 50%;">[残事業] 交通量：B/C=12.1～14.7（交通量±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=4.3～4.4（事業費±10%）</td> <td>事業費：B/C=11.9～14.0（事業費±10%）</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=4.2～4.5（事業期間±20%）</td> <td>事業期間：B/C=12.9～13.0（事業期間±20%）</td> </tr> </table>					[事業全体] 交通量：B/C=4.1～5.6（交通量±10%）	[残事業] 交通量：B/C=12.1～14.7（交通量±10%）	事業費：B/C=4.3～4.4（事業費±10%）	事業費：B/C=11.9～14.0（事業費±10%）	事業期間：B/C=4.2～4.5（事業期間±20%）	事業期間：B/C=12.9～13.0（事業期間±20%）
[事業全体] 交通量：B/C=4.1～5.6（交通量±10%）	[残事業] 交通量：B/C=12.1～14.7（交通量±10%）										
事業費：B/C=4.3～4.4（事業費±10%）	事業費：B/C=11.9～14.0（事業費±10%）										
事業期間：B/C=4.2～4.5（事業期間±20%）	事業期間：B/C=12.9～13.0（事業期間±20%）										
事業の効果等	<p>定性的な効果</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日常活動圏の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺市町から金沢市中心部へ至る主要な路線であり、地域間のさらなる連携強化が期待できる。 ②主要観光地へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・兼六園や金沢城公園など、金沢市内の観光観光地へのアクセス性向上が期待できる。 ③第三次医療施設へのアクセス向上 <ul style="list-style-type: none"> ・第三次医療施設へのアクセス性が向上し、救急救助活動の支援が期待できる。 ④防災機能の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路に位置づけられており、災害に強い道路ネットワークのさらなる強化が期待できる。 ⑤地域産業への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路ネットワークの強化により近隣工業団地へのアクセス性が向上し、地域産業のさらなる活性化が期待できる。 ⑥地域連携プロジェクト（石川県長期構想）の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・石川県の長期計画「ダブルラダー結いの道」整備構想の実現に大きく貢献。 										
関係する地方公共団体等の意見	<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <p>東部環状道路建設促進協議会（会長：金沢市長）より渋滞の抜本的な解決を図るため、全線4車線化の要望を受けている。</p> <p>知事の意見：</p> <p>コスト縮減に努めつつ、引き続き事業を継続し、着実に整備を進め、神谷内から東長江町間の平成29年度の確実な供用と、残る北伸区間の早期整備を図っていただきたい。</p>										
事業評価監視委員会の意見	審議の結果、再評価及び対策方針（原案）の「事業継続」は妥当である。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成18年4月に本路線を含む金沢外環状道路（山側幹線）が全線開通。										

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和62年度事業化、用地進捗率100%、事業進捗率83%（平成27年3月末時点）
 平成24年度：金沢市東長江町～同市鈴見台間 延長2.4km（4/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

神谷内町から東長江間（1.8km）については平成29年度の4車線化に向け工事を推進するとともに、残る区間についても早期完成に向けて、引き続き事業を推進する。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や工法等に変更は無いが、建設発生土の活用等を検討しコスト縮減を行う。

対応方針

事業継続

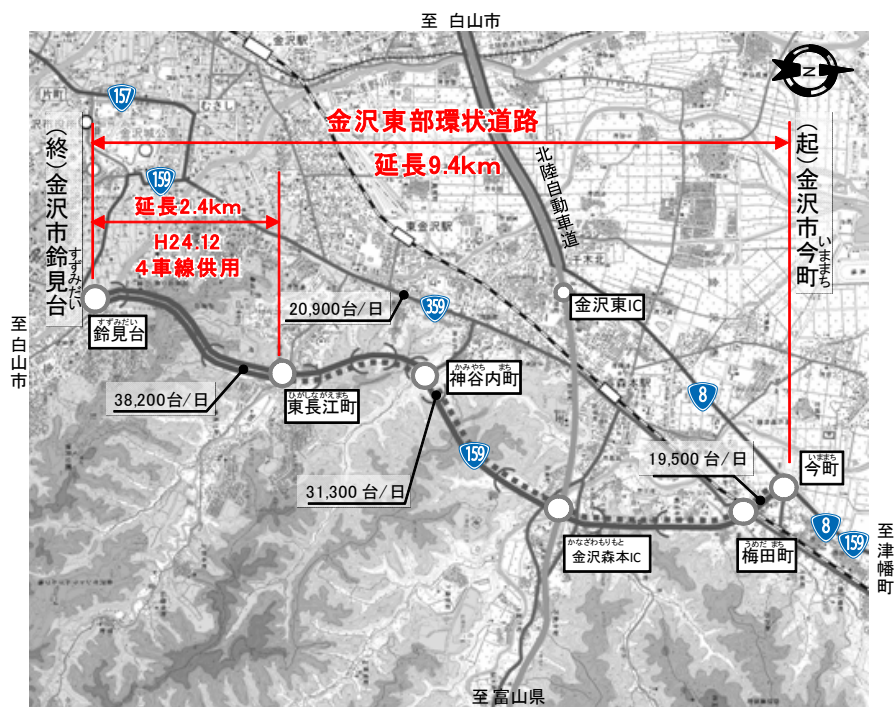
対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



【位置図】



【広域位置図】

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。